

廿日市市では、包ヶ浦自然公園の豊かな自然や海辺の景観を守りながら、将来にわたって親しまれる公園を目指し、民間事業者のアイデアやノウハウを活用した利活用の検討を進めています。令和7年度は、地域の皆さまとのワークショップの状況などについて、3回にわたりお伝えしてきました。今回は、事業者公募と整備計画づくりの最新状況をお知らせします。

～事業者公募の状況～

1 6月11日 公募条件案などについて、6月の議員全員協議会で説明しました

- 6月11日に、事業概要や公募条件案、今後のスケジュールについて、6月の議員全員協議会で説明を行いました。

2 7月27日 第1回事業者選定審査委員会を開催し、公募資料案について意見交換を行いました



- 7月27日に、包ヶ浦自然公園の一部エリア(左図の黄色部分)で、宿舍又は野営場事業を行う事業者候補者を選定するための、第1回事業者選定審査委員会を開催しました。
- 委員会では、募集要項、実施方針書、審査基準書などの公募資料案について意見交換を行いました。

選定審査委員会とは？

専門的な知識や地域の視点を持つ委員が、民間事業者の選考を、厳正かつ公平に審査するための委員会です。

メンバーは？

学識を有する者として大学教授2名、識見を有する者として地元関係団体の代表者4名、廿日市市の職員4名の、合計10名です。

3 8月3日 公募資料を公表し、事業者公募を開始しました

公募開始

令和8年
8月3日

- 8月3日に、市ホームページで公募資料を公表し、事業者の公募を開始しました。
- 事業者には、自然環境や景観の保全、希少な動植物への配慮、土塁などの戦争遺構の保護・保全、地域住民や既存事業者との共生、災害時の協力体制などを求めています。
- 地域の皆さまとともに、地域住民、観光客、地域環境、地域経済のそれぞれにとって良い効果を生み出す「四方よし」となる魅力ある包ヶ浦自然公園を実現していきたいと考えています。

公表した公募資料

募集要項、実施方針書、審査基準書などについて、廿日市市包ヶ浦自然公園利活用推進室のホームページに公表をしています。詳細はホームページをご覧ください。



廿日市市ホームページQRコード

4 9月1日 進捗状況等について、議員全員協議会で説明を行いました。

今後の流れ 企画提案書の受付後、プレゼンテーション審査を行い、令和9年2月頃の優先交渉権者選定を目指します。

1

公募資料公表
8月3日

2

参加申請受付
12月11日まで

3

企画提案書受付
令和9年1月22日まで

4

事業者
プレゼンテーション

5

審査委員会
による審査

6

優先交渉権者選定

令和9年2月中旬～下旬(予定)

民間事業者の公募とあわせて、市では、包ヶ浦自然公園の整備のための計画づくり(宮島包ヶ浦自然公園整備計画)の策定に取り組んでいます。自然環境学習の拠点として、利用者が安全で快適に過ごせる公園へと再整備を行います。

～整備計画の策定に向けた取組～

1 8月 計画策定に向け、現地視察を実施

- 令和7年度は、整備計画を策定するにあたり、包ヶ浦自然公園の持続的な活用等について、地域の皆さまとワークショップ(全体会3回、部会複数回)を開催しました。
- 令和8年度は、令和7年度で地域の皆さまとワークショップをした検討結果をもとに、具体的なハード・ソフトの取組をまとめた「宮島包ヶ浦自然公園整備計画」の策定に取り組んでいます。
- 策定にあたり、市と委託業者が改めて現地を歩き、園内施設、歩道や広場の状況などを確認しました。現地で把握した内容と昨年度の検討結果を踏まえ、包ヶ浦の特性を生かした整備の方向性を検討しています。



委託業者とともに、現地の状況を確認しました。

2 8月 地元関係団体との対話



整備計画の策定に向け、地元関係団体と意見交換しました。

- 整備計画を策定するうえで、包ヶ浦自然公園で実際に活動をしている団体の視点を計画に生かすことを目的に、令和7年度に行ったワークショップの部会「自然保護部会」から引き続き意見をうかがうため、自然保護部会の主要団体であるNPO法人宮島ネットワークと対話を行いました。
- 対話では、包ヶ浦自然公園でのこれからの活動内容のイメージなどについて意見交換を行いました。

自然環境の保全と利活用の両立を大切にしながら、民間事業者の選定と整備計画づくりを進めていきます。

事業の進捗は、今後も地域の皆さまに分かりやすくお知らせします。

ニュースレターのバックナンバー(全3回、令和7年度に実施したワークショップの状況など)はこちらからご確認ください。⇒

